



2022 年 第67 回 神子元島レース 関東トラディショナルシリーズ (KTS) 第3戦

帆走指示書 (Sailing Instructions)

(2022年9月16日)



開催日 : 2022年9月24日 (土) ~ 9月25日 (日)

開催地 : 相模湾および神子元島周辺海域

主 催 : JSAF 外洋団体加盟 外洋三崎

運 営 : 第67回神子元島レース実行委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions) の略語表記の意味

- [DP] : その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。RRS 第2章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。
- [NP] : この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これはRRS60.1(a)を変更している。
- [SP] : レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、帆走指示書に記載される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1、A5 及び A10 を変更している

1. 適用規則

- 1-1 セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) に定義された規則。但し、日没後から翌日日出までの夜間、または視界制限状態時に RRS 第2章の規定に代えて、海上衝突予防法および国内法規を適用する。
- 1-2 ORC Rating System 2022。ただし、以下を除く。
- (1) ORC Rule 201.2 を変更し、搭載する飲料物、燃料の量を制限しない。
 - (2) ORC Rule 206.1 を変更し、予備メインセイル1枚の搭載を認める。ただし、予備メインセイルをレース用の代替として使用してはならない。例外的に、セイルが重大な損傷を受けたり損失したりした場合、そのセイルは同様のセイルと交換することができる。
 - (3) 最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 1-3 IRC 規則 2022 Part A、B および C と日本セーリング連盟 IRC 規程を適用する。
但し、以下を除く。
- (1) IRC 規則 2022 22.4.2 は、レース中乗艇する乗員の最大合計重量(kg)は証書記載の乗員数×85kg を超えてはならない。乗員数の制限はない。
但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 1-4 JSAF 外洋レース規則 2009。
- 1-5 JSAF 外洋特別規定 2022-2023 モノハル・カテゴリー3 および OSR 国内規定。
但し、3.29.13 AIS トランスポンダーの搭載およびレース期間中有効に作動させること。(3.29.13 変更)
- 1-6 DR21-01 代替スタート・ペナルティー。詳細は以下 JSAF HP 参照。
https://www.jsaf.or.jp/rule/pdf/DR2101_AlternativeStartingPenalty_20220321.pdf
- 1-7 [DP] 外洋三崎 感染症対策規定 (別紙)
健康等確認申告フォーム(下記URL)に記載し、レース当日8時までに申告すること。
https://misaki-ocean-sailing.club/2022/miko/health_check/

2. 帆走指示書の変更

変更は3項「選手とのコミュニケーション(競技者への通告)」に準じて行う。

3. 選手とのコミュニケーション(競技者への通告)

3-1 レース本部設置場所

場 所 : 油壺湾ヨットクラブ (ABYC) (神奈川県三浦市三崎町小網代1240-19)

* 三崎マリン正面玄関の向いの建物です。

設置期間 : 2022年9月24日(土) 07:30~9月25日(日) 17:30

(レースの状況により、設置期間が短くなる場合がある)

3-2 公式掲示板設置場所

公式WEB サイトを公式掲示板とする。

公式掲示板(WEB) : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2022/index.html#miko>

3-3 連絡先

電話番号 : 090-2341-3140

ファックス番号 : 050-3737-2919

メールアドレス : mikomoto-2022@misaki-ocean.jp

3-4 競技者への通告は9月24日(土) 07:30から08:00までの間に、公式掲示板(WEB)にて行う。

9月23日(金)以前に行う通告は、外洋三崎ホームページに掲載する。尚、同時に各艇の連絡責任者宛に外洋三崎事務局よりメール通知を行う。

3-5 通告を海上でおこなう場合は本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

3-6 レース委員会は、水上では競技者への連絡は、21.無線通信に記載する。

4. 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5. レースの日程

2022年9月24日(土) 09時45分 : チェックイン締め切り

2022年9月24日(土) 09時55分 : 予告信号

2022年9月25日(日) 15時00分 : タイムリミット

6. デイビジョン

6-1 以下の2デイビジョンを設ける。

IRC デイビジョン

ORC-C デイビジョン

6-2 IRC デイビジョン、ORC-C デイビジョンのダブルエントリーを認める。

6-3 各デイビジョンとも参加艇数により、さらにクラス分けを行う場合がある。

7. [DP] [NP] レース旗

7-1 IRC デイビジョン、ORC-C デイビジョンともレース旗は、JSAF レース旗を用いる。

7-2 参加艇はチェックインから自艇のレースが終了するまで、JSAF レース旗を掲揚すること。

7-3 レース旗の下辺がデッキより1.5m 以上の高さになるように掲揚すること。

8. レースコースと公式距離

8-1 レースコース

小網代湾口 (スタート) ⇒ 網代崎灯浮標 (左に見て) ⇒ 神子元島 (反時計廻り) ⇒
網代崎灯浮標 (右に見て) ⇒ 小網代湾口(フィニッシュ)

8-2 公式距離 : 99 マイル

9. [DP] [NP] チェックイン

参加艇は、09:45 までに、L 旗を掲揚した本部船を右側に見て後方から機走もしくは機帆走で通過し、セイル番号、乗員数およびライフジャケット着用の確認を受けなければならない。

10. スタート

10-1 レースは、以下の追加事項とRRS26に従ってスタートする。

10-2 全艇一斉スタートとする。

10-3 レース開始を艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ旗を掲揚する。

10-4 予告信号に用いるクラス旗は、JSAF クラブバージとする。

10-5 スタートライン

スターボード・エンドとなる本部船のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポート・エンドとなる黄色円柱型ブイのコース側との間とする。

10-6 スタート信号後20分後にスタートラインは消滅する。

10-7 スタート信号後20分以内にスタートしなかった艇は、DNS とする。(RRS A4、A5 の変更)

11. リコール

11-1 [SP] 個別リコール

リコール艇があった場合、RRS29.1 により音響 1 声とともにX 旗を掲揚する。

X 旗はリコール艇の全てが、リコールを解消するか、スタート信号後 4 分経過するか、どちらか早い方で降下する。リコール艇は、スタートラインまたはその延長線のプレスタート・サイドに完全に帆走するまで、または RRS30.1 が適用されている場合には、スタートする前にスタートラインの延長線上を横切りプレスタート・サイドまで帆走しなければならない。

リコール未解消の艇にはDR21-1 に基づき所要時間に対し 3 %のタイムペナルティを課す。

11-2 個別リコール艇に対するサービス 個別のリコール艇名をレース委員会が VHF 72ch にて同報する場合がある。(RRS 29.1 への追加)

ただし、これはあくまでサービスであり、不手際があったとしても救済の対象とはならない。

11-3 ゼネラル・リコール ゼネラル・リコール信号は RRS29.2 により音響 2 声とともに第 1 代表旗を掲揚する。新しいスタートの予告信号は、第 1 代表旗降下 (音響信号 1 声) の 1 分後に発せられる。

12. フィニッシュライン

- 12-1 本部船（外洋三崎大クラブ旗を掲揚）の青旗を掲揚したポールと黄色円柱型ブイのコース側との間とする。
- 12-2 フィニッシュマークは黄色円筒形ブイとする。
夜間自動点灯型のストロボライトを装着する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。

13. タイムリミット

- 13-1 タイムリミット時刻：9月25日（日）15:00 とする。
- 13-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇は、DNF と記録される。（RRS 35、A4、A5 の変更）

14. 審問要求

- 14-1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して通告（赤色旗の掲揚等）すると共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後2時間以内に所定の抗議書をレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
- 14-2 救済の要求は、所定の抗議書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後2時間以内にレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
- 14-3 審問は原則、リモート会議ツールにより開催され、開始の時間、会議URL については公式掲示板（WEB）に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。
- 14-4 RRS41, 55 と本SI 中[NP]と記された項目は艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。（RRS 60.1(a)の変更）

15. 順位とKTS得点および表彰

- 15-1 IRC デイビジョン
TCC によるタイムオンタイムにより計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、TCC の数値が小さい艇を上位とする。
- 15-2 ORC-C デイビジョン
パフォーマンス・カーブ・スコアリング（Offshore）により計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、GPH の数値が大きい艇を上位とする。
- 15-3 KTS 得点
別途公開される関東トラディショナルシリーズ(KTS) 順位算定基準に従う。
- 15-4 表彰の詳細は、改めて、参加艇連絡責任者に連絡する。

16. レースの成立

- 各デイビジョン、1艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持ってレースの成立とする。

17. レースの中止

17-1 悪天候や感染症拡大防止策などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レースの中止はレース前日の9月23日(金)18:00までにレース委員会が決定し、レース委員会より各艇の連絡責任者宛に電話連絡を行う。加えて3項に準じて通告する。

17-2 スタート海面で中止を決定する状況が生じた場合は、本部船にN旗とA旗を掲揚し音響3声を発する。

18. 日没、日の出の公式時刻

日没時刻 : 9月24日(土) 17:30

日の出時刻 : 9月25日(日) 05:30

19. 出艇申告の変更 (乗員の変更)

19-1 乗員の変更は、原則として、9月24日(土) 08:00までに書面をレース本部に、メールで提出すること。

19-2 前項が困難な場合には、9月24日(土) 07:30-08:00の間、レース本部の電話でも受け付ける。

但し、この場合はチェックイン時に出艇申告書の変更(乗員の変更)を書面にて本部船に提出すること。

20. スタートしない場合、リタイアする場合の義務

20-1 スタートしない艇およびリタイアする艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない。

20-2 連絡は必ず艇の責任者もしくは相応の者が行い、艇以外の第三者に伝言を託してはならない。

20-3 リタイアした艇は、ホームポートに帰着するまで、携帯電話およびVHFを常時通話可能な状態を維持すること。(レース本部より安全の観点から連絡する場合がある)

20-4 リタイアした艇は、ホームポートに帰着後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

21. [DP] 無線通信

21-1 ロールコールは添付の付則-1「神子元島レース 通信規定」に従い運用すること。

21-2 ロールコールの通信手段は、携帯電話を使用する。

21-3 通信の制限

レース中の艇は、いかなる通信の制限は行わない。但し、RRS41を変更するものではない。

22. [DP] 日没後から翌日の出までのフィニッシュの手続き

22-1 フィニッシュの5分前までに本部船に対し、A符号(・ー)の発光信号を連送すること。

22-2 前項に加え、フィニッシュ直前に自艇のメインセイルをライトで照射し、本部船の視認を受けること。

22-3 さらに、フィニッシュ後、艇名を発声にて本部船に申告し、確認を受けること。

23. [DP] 帰着申告書類の提出義務

帰着申告として所定のレース報告書および航跡図に必要事項を記入し、艇長署名の上、フィニッシュ後2時間以内に、本部船またはレース本部に提出(メール可)しなければならない。帰着申告書類は、外洋三崎ホームページより入手できる。

24. ペナルティー方式

RRS 44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。

25. 賞

25-1 各ディビジョンのファーストホーム賞と1～3位。

*ファーストホーム賞は違反なく最も早くフィニッシュした艇に与えられる

25-2 ディビジョンでクラス分けした場合、総合1～3位と各クラス1～3位。

25-3 4艇以上参加の場合3位まで、3艇参加の場合は2位までを表彰とする。

25-4 ダブルエントリーについては、25-1項、25-2項を考慮する。

26. 安全に関する遵守事項

26-1 ほぼ相模湾全域にて使用できる2台以上の携帯電話を搭載し、良好な状態を維持していること。

26-2 携帯電話の予備バッテリーおよび艇内の電源から携帯電話のバッテリーを充電出来る装置の搭載。

26-3 膨張式ライフジャケット等安全備品については、緊急時に有効に稼働させるため、機能確認を適時行っていること。

26-4 全乗員の1/2以上の定員を有する検査有効期限内のライフラフトの搭載（推奨）。

27. 緊急避難

27-1 悪天候を避けるため、傷病人の上陸のため、艇の修理のために、なるべく早い機会にレース委員会に通知した上で、港湾内に進入着岸しても良い。

27-2 港湾内等に進入する際、アンカリングや着岸の際にエンジンによる推進力を使用しても良い。

27-3 いったん艇から降りた乗員は、係船のために一時降りたり、傷病人の安全な場所への移動などの補助をした場合を除き、その後のレースに参加することはできない。

28. [DP] エンジンの使用

RRS 42.3 が適用される場合、あるいは前項の規定に従う場合には、エンジンを使用することができる。

但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用目的、時間、場所等)について、フィニッシュ後にレース委員会に報告しなければならない。

29. インспекション

29-1 レース委員会はレース前・レース後の可能な時に、参加艇が諸規定に適合しているか否かをチェックすることがある。

29-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、チェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に選択した艇に対して、随時にインспекションを実施することができる。

30. 運営艇

本部船 : ヨット : 艇名 : 貴竿坊 (マエストロ40)、 船体色 : ホワイト

外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

日没から日の出まで、錨泊灯と赤色灯縦 2 つを点灯する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。

運営艇 : プリンセスⅡ (油壺ヨットハーバー)

インフレーターボート、 船体色 : グレー、外洋三崎クラブ旗(小)を掲揚する。

31. ゴミの処分

レース参加者は、故意にゴミを水中に投棄してはならない。これには、セイルをセットするときのゴムまたは毛糸のバンドも含まれる。

32. 緊急捜索要請

諸情報を総合的に勘案し、艇の遭難の可能性が高いとレース本部が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先と協議の上、海上保安庁に捜索要請を行う。

緊急時における海上保安庁関係機関の連絡先 TEL : 118 番

第三管区海上保安本部 TEL : 045-211-1118

33. 事故報告

人身、捜索を必要とする落水、および他艇を巻き込む衝突事故などを起こした場合、事故を起こした艇は、遅滞なくレース委員会に、可能な手段で報告しなければならない。

34. リスク・ステートメント

34-1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』

とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を 伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大、COVID-19 感染などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生 消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

34-2 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

34-3 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。

34-4 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。

34-5 オーナーは、船体、スパー、リギン、セイルおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。

34-6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。

34-7 レース委員会は、不適当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

35. 問い合わせ

問い合わせ、質問はEメールのみで対応する。

- ・艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きにて問い合わせること。
- ・質問内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

宛 先 : 第67回神子元島レース実行委員会 レース事務局
メールアドレス : mikomoto-2022@misaki-ocean.jp
外洋三崎URL : <http://www.jsaf.or.jp/misaki/>

以 上

付則－1 神子元島レース 通信規定（携帯電話による通信方法）

目的	時刻 (JST)	接続方法	通話・報告内容	その他
スタート前の 通話確認	09:15 ～ 09:45	本部⇒各艇	①本部から、接続・ 通話状態を確認。 ②レース艇から、接続・ 通話状態を返答。	接続性、明瞭度等の確認。 〈呼出方法〉 ①順次呼び出す。 ②2回接続不可時、2台 目の携帯に電話する。
定時 ロールコール	18:00 02:00 10:00	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①位置：緯度・経度 ②乗員の状況 ③艇の状況 ④艇速（対地速度） ⑤風速 ⑥風向 ⑦波高	〈呼出方法〉 ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備1の順に呼び 出す。 注：報告事項は、定時刻の 情報であり、報告時点ではな い。
神子元島回航連絡	神子元島回航 後速やかに 行なう	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①神子元島灯台を、 MAG0°に確認し た時刻。 ②乗員の状況 ③艇の状況 ④艇速（対地速度） ⑤風速 ⑥風向 ⑦視認できる艇名	〈呼出方法〉 ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備1の順に呼び 出す。
通信確認	適時	本部⇒各艇	確認、依頼、など	各艇に通信状況確認。 (指示する場合もある)
非常時通信	適時	各艇⇒本部	①自艇名 ②位置：緯度・経度 ③艇・乗員の状況 ④依頼事項 ⑤艇速・風速・風向 ⑥視認できる艇名	〈呼出方法〉 すべての通信手段により、連絡 を行うこと。
フィニッシュ 予告連絡	フィニッシュ 予定 1時間前	当該艇 ⇒本部	①自艇名 ②小網代灯浮標まで XX マイル ③艇速 xx ノット	〈呼出方法〉 ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備1の順に呼び 出す。

本部電話番号（変更がある場合は公式掲示板で通知する）

本部 : 090-2341-3140 / 予備1 : 080-3120-5681

緊急時 : 海上保安庁関係 : 118 番 / 第三管区海上保安本部 : 045-211-1118

* 携帯電話の義務事項

スタート1時間前(9月24日 09:00) からフィニッシュ1時間後まで、常時通話可能な状態を維持すること。

* 国際VHFの運用

1. スタート後より、フィニッシュ後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のため VHF16chを聴取常時受信可能な状態すること。
2. 緊急時、本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
3. VHF16ch は、呼出しチャンネルであるため通話は船間波(72ch、73ch、69ch)に変波して行うこと。

* リタイアした艇の義務事項

1. ホームポートに帰着するまで、携帯電話およびVHF は常時通話可能な状態を維持すること。
(レース本部より安全の観点から連絡する場合がある)
2. ホームポートに帰着後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

-以上-